

ご関係のみなさまへ

日本防災士会・新潟県支部 新潟市地区幹事 長濱 直也

新潟市の小学校で、災害時(水害・地震)に開設される避難所開設体験を実施

小学校 5年生の総合学習(防災)にて避難所開設を想定しての体験型ミニ HUG を行いました。

11 月より指定避難所である学校の災害備蓄品の保管場所、段ボールベット、簡易トイレの組み立て方法、備蓄品の種類、自宅から避難するときの非常持ち出し袋について学習。

加えて、今回は事前に災害時の要配慮者について学びました。

内容

避難所スペースのレイアウト 受付、パーティション、ベッド、簡易トイレの設置

高齢者、妊婦さん(妊婦さんジャケット着用)、障がいのある方、怪我をされている方、ペット連れ、外国人の方などになりきり、避難所を訪れるグループ、受付 案内するグループ、気づきをまとめるグループと、3 グループにわかれ、すべてを順に経験しました。

手順、要配慮者へのサポートの仕方など説明後の活動は子どもたちの自主性に任せました。

3 日間 1 クラスずつの学習でしたが、クラスごとに特色があり、子どもたちの豊かな発想に驚かされました。

概要

日時:令和 5 年 1 月 31 日(火) 2月1日(水) 2月3日(金)

対象:新潟市の小学校 5 年生 参加:3 クラス

題名:「避難所開設体験・要配慮者になって」【1.知る、2.考える、3.行動する】

講師:日本防災士会・新潟県支部 新潟市地区 防災士 3 名

